

年 組 番
(名前)



「コンビニがプラごみ削減

ローソンが一部店舗で始めた実験で導入している紙製のアイスコーヒーの容器



コンビニがプラごみ削減

コーヒー容器、紙製で

コンビニ各社がプラスチックごみによる海洋汚染の問題を受け、削減に向けた取り組みを強化している。ローソンでは一部店舗のアイスコーヒーの容器をプラスチックから紙製に変更する実験を始め、ファミリーマートはプラスチックの種類を大幅に減らす方針だ。使用量の多いコンビニが本格的な対策に乗り出せば、削減に拍車

が掛かりそうだ。業界団体によると、2017年のプラスチックの排出量は推計で約900万トンに上り、環境省は30年までに使い捨てプラスチックの排出量を25%削減する目標を立てている。ローソンは、2月下旬から期間限定の実験で東京都内の5店舗の「ナチュラルローソン」でアイスコーヒ

1のSサイズ容器をプラスチックから紙製に切り替えた。ストローは使わず、ふたはホット用で使われるような飲み口のあるタイプを使用している。利用客の反応が良ければ、今夏には全店舗で導入する予定だ。容器1個当たりのプラスチックの量は8割減り、全店に導入した場合、年間約540トンを削減できる見込み。セブンイレブン・ジャパンでも四国の一部店舗で、アイスコーヒ

ファミリーマートは、18年2月期に計約300種類あったサラダ、弁当などの容器や包材の種類を、20年2月末までに4割減らす方針だ。複数商品に対応できる容器に変えることにより、商品の切り替え時に発生する廃棄物を減らすことができるとしている。

◎記事から読み取ろう

○コンビニ各社のプラごみ削減対策と効果についてまとめよう。

<コンビニ名 >では、

<コンビニ名 >では、

<コンビニ名 >では、

<業界団体> _____年のプラごみ排出量 _____トン

<環境省の目標> _____を

_____年までに _____%減らす

◎広げよう・深めよう

○コンビニやその他の店で、「プラごみ対策をした方がいい」と思うことには、どんな店、どんなものを思い浮かびますか。

(佐賀新聞 2019.2.22 付)

・◎自分の考えをまとめよう *友達と意見交換したり、家族と話し合ったりしよう。

○プラごみの原因となるプラスチック製品と私たちの日常生活の関わり方について考えてみよう。